

ふりがな 氏名	たけだ ゆきこ	都道府県	大阪府	
	武田 裕希子			
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・ウータン・森と生活を考える会 ・認定 NPO 法人 環境市民 			
私のESD活動	ボルネオの熱帯林破壊と日本の私達の暮らしの繋がりを伝え、持続可能な生活についてともに考える活動			
関心・活動のSDGs				

活動の概要

ボルネオ島の中央カリマンタン州タンジュンブティン国立公園付近の村人が進める、多種多様な在来種の苗作りと植林活動を応援する活動に 7 年以上関わっています。かつては違法伐採、現在はパーム油生産のためのアブラヤシ・プランテーション開発とそれに起因する大規模な泥炭地火災等によって、現地では今も森林破壊が進んでいます。そんな中、森林を破壊しない生活の在り方を模索して、村人を中心とする現地 NGO は苗作りに加え、アグロフォレストリーや在来種の果樹園作り、消防チーム作りなどに精力的に取り組んでいます。そんな彼らと日本人の人々を繋ぎたいと思い、私は大阪で 30 年に渡って熱帯林保全活動を展開している NGO ウータン・森と生活を考える会のメンバーとして、エコツアーの企画実施に立ち上げから関わっています。私達のエコツアーでは、熱帯林破壊について現地 NGO から学び、豊かな森林を再生させるべく村の子供たちと植林を行います。また、英語を話せないことも多い村人の家庭でのホームステイは、言葉を越えたコミュニケーションを通して分かり合う体験から、忙しい毎日の中で見失いがちな大切なことに気付かせてくれると好評を頂いています。また国内での環境教育として、学校やイベントでボルネオ島の現状を伝え、この止まない熱帯林破壊の原因でもある私達のパーム油に対する需要と生活の在り方、「安く」「いつでも」「大量に」に疑問を投げかける活動を続けています。

・「『ウータン・森と生活を考える会』ボルネオ島エコツアー」 http://hutangroup.org/?page_id=180

・「箕面こどもの森学園でのデキゴト」 <http://kodomono-mori.com/chugakubu/blog/?p=3223>

今後の活動の展望と周囲や社会への還元

コンファレンスでは、それぞれの専門分野について学び経験を積まれた多様な方々に出会えるものと期待しています。特にどなたも ESD に関心を持たれているということで、同じ志を持つ仲間が得られ、将来の活動においても互いに協力して高め合えると確信しています。今後大学院では、NGO での活動と関連付けて持続可能なパーム油のための円卓会議 (RSPO) 認証マークに関し、日本の消費者やマーケットに対する環境教育について研究しようと考えています。更に将来は NGO、NPO 職員を目指し、森林保全と環境教育を自身のテーマとして主に日本で活動を発展させたいと考えています。日本の放置されたスギ人工林、インドネシアのプランテーション開発、カナダの木材開発等を目の当たりにして、豊かな森を保全するにはどうすれば良いのかをずっと考えてきました。自分なりに今たどり着いた答えは、遠回りに思えてもやはり一人ひとりが持続可能性に配慮して丁寧に生きていくこと。それが実現できる人と社会づくり。具体的には SDGs の目標 12 にもある持続可能な生産消費への社会構造転換を実現していくことだと考えています。コンファレンスを通して、伝え、共感を生み、行動を起こす力を更に高めたいです。